一般廃棄物管理施設の設置に伴う生活環境影響調査の結果について

この調査は、豊能郡環境施設組合が設置する一般廃棄物の管理施設について、廃棄物処理法の定めにより、当該施設が周辺地域の生活環境におよぼす影響をあらかじめ調査し、その結果に基づいて、この事業に係る環境の保全について適正に配慮することを目的としています。

調査項目は、施設の造成工事および埋立作業においては「騒音・振動」（建設機械の稼働および運搬車両の走行）を選定し、施設の供用後においては「水質」（地下水の流れおよび地下水質）を選定しました。

騒音・振動

◎調査・予測結果

① 建設機械の稼働に伴う騒音

	調査・予測地点	予測結果	環境保全目標
工事に伴う騒音	No.1	76dB	85dB
埋立作業に伴う騒音	No.1	55dB	55dB
	No.2	48dB	55dB
	No.3	57dB	65dB

② 車両の走行に伴う騒音

		調査・予測地点	予測結果	環境保全目標	
				環境基準	要請限度
造成工事	工事用車両の走行に伴う騒音	断面 1	68dB	65dB	75dB
埋立作業	運搬車両の走行に伴う騒音	断面２	69dB		

＜参考：騒音の目安＞

80ｄＢ	地下鉄の車内・電話のベル	50ｄＢ	静かな事務所
70ｄＢ	掃除機・騒々しい事務所	40ｄＢ	深夜の市内・図書館
60ｄＢ	普通の会話・静かな乗用車の中	30ｄＢ	静かな住宅地の夜

③ 建設機械の稼働に伴う振動

	調査・予測地点	予測結果	環境保全目標
工事に伴う振動	No.1	61dB	75dB
埋立作業に伴う振動		54dB	60dB

④ 車両の走行に伴う振動

		調査・予測地点	予測結果	環境保全目標
造成工事	工事用車両の走行に伴う振動	断面 1	55dB	65dB
埋立作業	運搬車両の走行に伴う振動	断面２	55dB	

＜参考：振動の目安＞

85～95ｄＢ	物的被害が生じ始める
75～85ｄＢ	屋内の人のほとんどが揺れを感じる
65～75ｄＢ	吊り下げ物がわずかに揺れる
55～65ｄＢ	屋内の一部の人がわずかな揺れを感じる
50ｄＢ以下	ほとんどの人が揺れを感じない

◎騒音・振動の環境保全措置

- 建設機械については、低騒音型の機械の採用に努め、建設機械の稼働は、作業が過度に集中しないように工事工程を管理します。
- 工事に伴う騒音の状況が外部からも把握できるよう、騒音計を設置します。
- 工事中における運搬車両の走行は、一定の工事時期に過度に集中しないように工事工程を管理し、不要なアイドリング、空ぶかしを行わないよう、また、近隣住宅付近を走行する際は徐行運転をするよう工事関係者を指導します。

水 質

◎調査結果

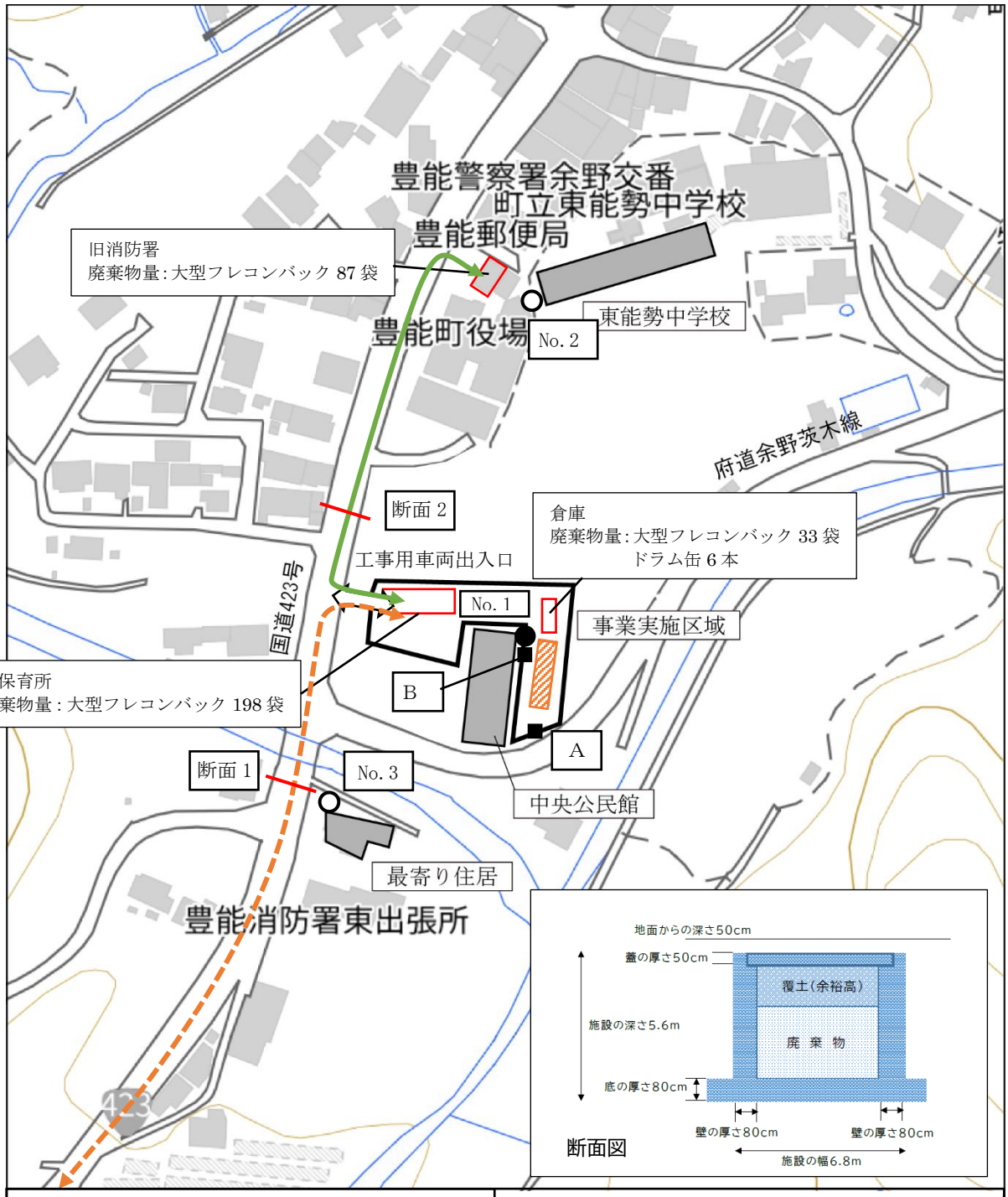
① 施設の存在に伴う地下水の流れ

調査地点	孔内水位（GL-m）	有孔管（GL-m）	観測深度（GL-m）	平均流向（16 方位）	最大流速（cm/min）
A	6.69	2.0～10.0	7.2	東	0.060
B	5.39	2.0～6.0	5.7	東北東	0.012

② 施設の存在に伴う地下水質

基準省令に定める地下水等検査項目、電気伝導率及び塩化物イオン並びにダイオキシン類及び浮遊物質量（SS）について、2 地点における調査結果は、すべての項目で基準値を下回っていました。

項目	単位	.A	B
基準省令に定める地下水等検査項目	mg/L	不検出または基準値以下	
電気伝導率	mS/m	38	31
塩化物イオン	mg/L	50	4
ダイオキシン類（基準：1pg-TEQ/L）	pg-TEQ/L	0.018	0.030
浮遊物質量（SS）	mg/L	1	1 未満



凡例

- 事業実施区域
- 施設設置位置
- 廃棄物保管場所
- 地下水調査地点
- 敷地境界における騒音・振動調査・予測地点（No.1）
- 保全対象施設近傍における騒音・振動調査・予測地点（No.2、No.3）
- 道路沿道環境における騒音・振動予測地点（断面 1、断面 2）
- 工事用車両走行ルート(工事)
- 工事用車両走行ルート(埋立作業)

N

0　50m　100m

1：2, 500

事業実施区域位置及び調査・予測地点

◎予測結果・影響の分析・環境保全措置

施設の計画深さは、現地調査結果から地下水位まで達することから、地下水の流れを部分的に遮ることで、上流側では地下水位が上昇、下流側では地下水位が低下するものの、水位上昇により地下構造物である施設の浮力が増加することの影響に対しては、施設底部の側面にフーチング（張出し）を設けることで対策し、水位低下による地下水の流れの変化に関しては、その変動幅は約６ｃｍと予測され、その影響が予測される約 12mの範囲で井戸の利用がないことから、この変化によって現況の土地利用や利水に影響はないと予測されます。

また、地下水観測井において地下水位、地下水の流れ、地下水質のモニタリングを継続して行い、万が一異常が見られた際には、遮水工等の拡散防止対策を早急に講じるといった環境保全措置を講じます。

以上のことから、施設の設置・存在に伴う周辺環境への影響は軽微であり、万が一、地下水への影響が生じたとしても把握・対応できるものと評価します。

＜生活環境影響調査書の縦覧＞

この生活環境影響調査の詳細な内容につきましては、法令の規定に基づき令和６年 12 月２日（月）から令和７年１月６日（月）まで（土・日・休日は除きます。）豊能郡環境施設組合等で報告書の縦覧を実施するとともに、町のホームページにも掲載をいたします。この調査結果について、令和７年１月20日（月）まで、生活環境の保全上の見地からの意見書を提出いただけます。

〒563-0219
豊能郡豊能町余野４１４－１

豊能郡環境施設組合　　電話　072-739-3004